伊藤委員提出資料プロパティマネジメント業務について

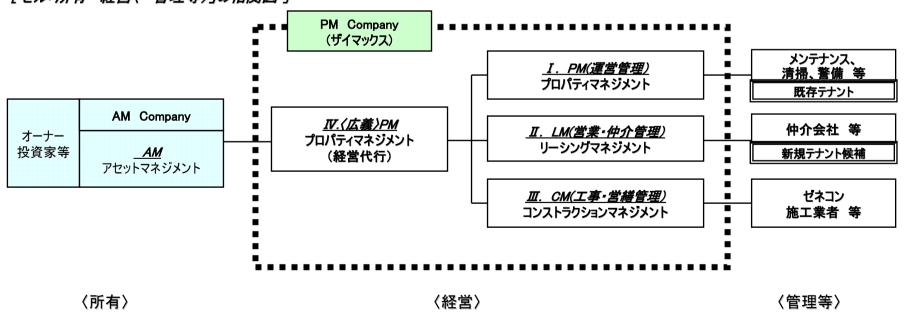
プロパティマネジメント業務について

今、不動産経営が置かれている環境は、非常に混沌としたものとなっています。

バブル期のように、絶対的に「需要>供給」であれば、物件を建てれば経営戦略がなくとも収益が生まれました。 しかし、現在は「需要と供給の関係が混沌とした」時代であり、エリア・規模・用途など多様な競争軸の中で、 競争を勝ち抜かなければなりません。不動産経営において、専門的で高度な経営戦略が求められています。

「プロパティマネジメント」とは、オーナーに代わって、その不動産経営戦略を立案・遂行することであり、物件から生じる「キャッシュフローの最大化、資産価値の極大化」を図ること、すなわち「不動産の経営代行業」であるとお考えください。

「ビル「所有一経営(一管理等)」の相関図]



1. XYMAXのプロパティマネジメント業務 ①

XYMAXのPM業務の優位性 = 豊富なデータベース+経験・実績

1. Market data

約1600社に及ぶテナントデータ、協力会社からの収集したデータ等を分析し、現在のマーケット賃料を算出。過去・現在の経済状況、 賃料推移、空室率推移、今後の将来の新規供給計画等を総合的に分析し、将来的なマーケット賃料や需給関係を推測

2. Maintenance cost data

管理ビル約250棟のデータストック及びビルの規模、特性、マーケットの中の位置付け等を総合的に分析し、適正な管理仕様を作成、 それに応じた項目毎の適正コストを算出。

3. CAPEX data

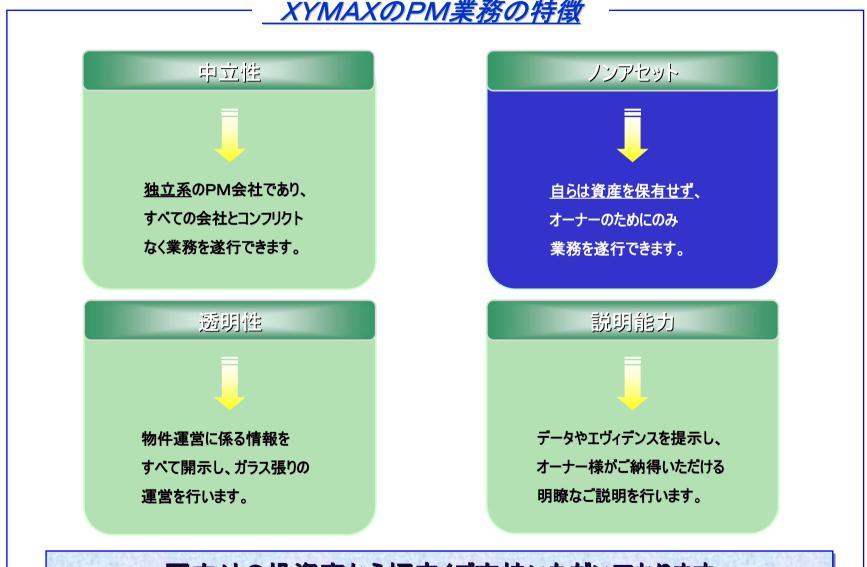
管理ビル約250棟のデータストック、各設備の使用状況、過去の修繕履歴等から、費用対効果の高い中長期修繕計画を立案・実施

4. CAP RATE data

谷澤総合鑑定所との提携により、全国の売買事例と弊社データを分析することで、マーケットの適正CAP Rateを算出。

1. XYMAXのプロパティマネジメント業務 ②

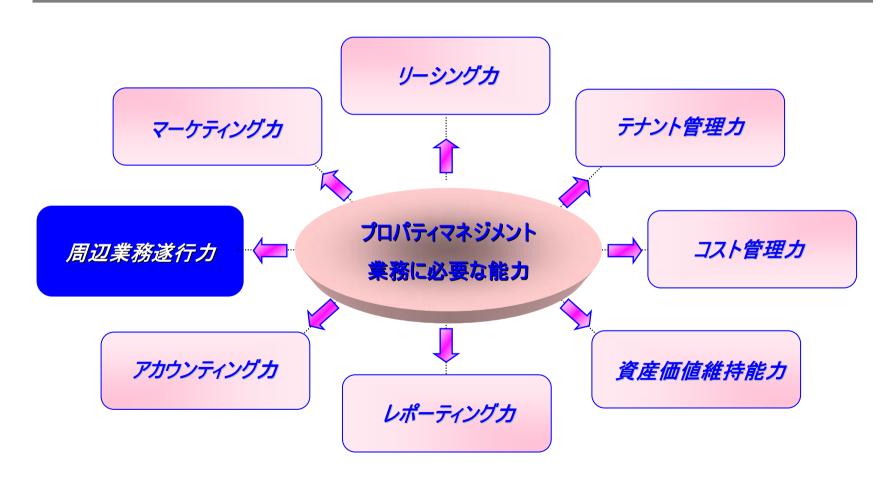
XYMAXのPM業務の特徴



国内外の投資家から幅広くご支持いただいております

不動産経営であるプロパティマネジメントを行なうためには、多岐に渡るノウハウと実行能力が必要です。

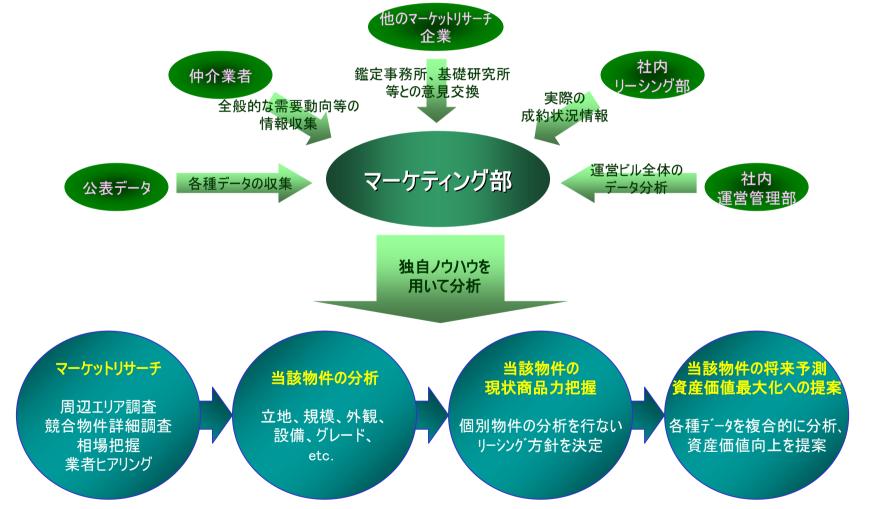
当社は、**プロパティマネジメント業務を細分化し、専門性を高め、効率化を図る**ことで、高いパフォーマンスを実現できる体制を整えています。



■マーケティングカ

マーケティングカ

弊社運営ビルテナント約1,600社(01.4月時点)のマーケットデータ、他社から出されている一般的なデータ、実際の近隣募集状況、 今後の供給予定データ(弊社独自)など、各種データを独自のシステムにてストックし、マーケティング分析環境を整備し、最新の適 正なマーケットの分析・把握に努め、リーシング活動に役立てています。

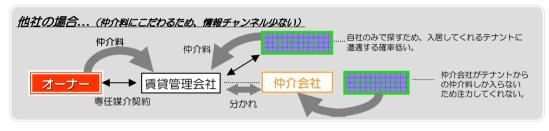


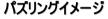
■リーシングカ・テナントリレーション

リーシングカ・テナントリレーション

「情報多チャンネルリーシング」「パズリング」など幅広く、柔軟なリーシング活動で、安定した稼動を目指しています。 テナントとの良好な関係の継続は非常に重要であり、日頃から生きた情報を把握するため、「フェイスtoフェイス」でのコミュニケーションを 心がけ、テナントニーズの早期把握、テナントクレームの事前察知に役立てています。

弊社テナントリーシングと賃貸管理会社リーシングの違い

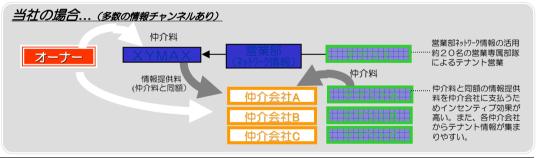






パズリング後

the same rent



rent down В D D Е gone lower FL but

早期テナント付けができることがビル経営の安定において非常に重要。直接テナントを見つけること(仲介料)にこだわらず、各社 提携仲介業者からの全面的な協力を得た営業体制を組んでいます。

テナントリレーションの基本スタンス





■コスト管理能力

適正な管理仕様

弊社管理ビル約260棟の管理実績に裏付けられた科学的管理データ、賃料マーケティングによる費用対効果および専門的 経験に基づき、適正な管理仕様のご提案を行っています。(下記イメージ例参照)

* 各メーカーから出されていますデータおよび実際の管理状況・使用状況なども参考に、弊社ならではのご提案を行います。

価格コントロール

適正管理仕様のまま、競争原理の導入により最適価格へコントロールすることを目指しています。

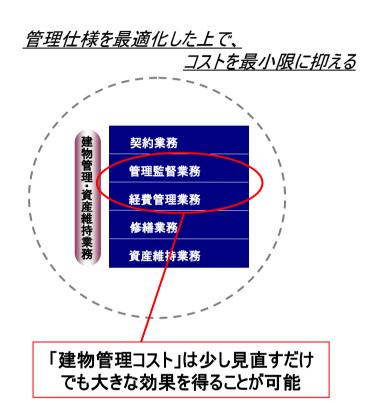
* 弊社管理ビルの管理実績を参考に、価格コントロールに取り組みます。

建物管理の提案イメージ例

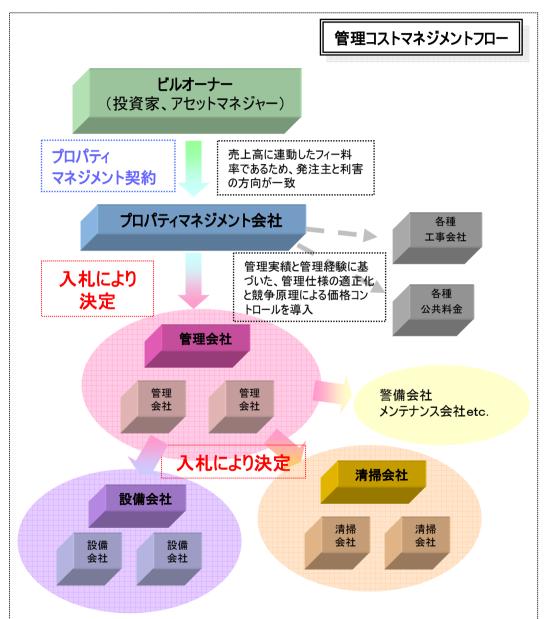


オフィスピルの規模別標準仕様のイメージ例





信用のおける業者何社かにてBIT(入札)を行い、絞り込んだ業者と、単年でなく複数年での管理契約を締結することにより、管理の質や仕様を落とさないでコスト削減を行うことが可能となる。



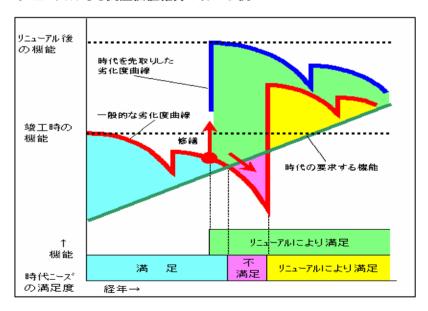
■資産価値維持能力

計画的で効果的なリニューアル工事の立案

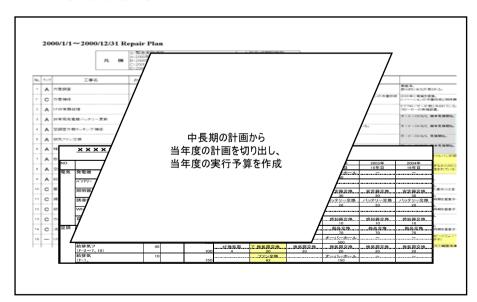
時代のニーズに即応した資産価値維持を目指し、中長期の修繕予算計画を立案しています。ご相談のうえ、当年度の計画案を切り出し、当年度の実行予算を作成します。(下記イメージ例参照)

- * 当該ビルの使用状況・管理状況を踏まえつつ、他の弊社管理ビルの運営ノウハウを活かしたご提案を行います。
- *適正リニューアル工事仕様のまま、競争原理の導入により最適価格へコントロールしていくことを目指します。

リニューアルによる資産価値維持のイメージ例

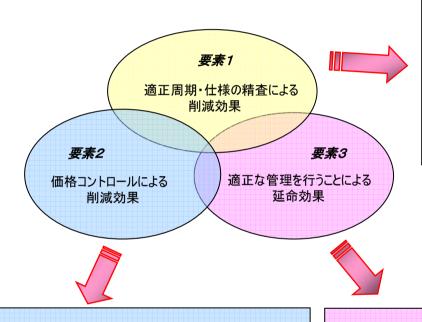


中長期の修繕予算計画のイメージ例



■資産価値維持能力

修繕・更新費用削減の3大要素



要素 1 <適正周期・仕様の精査による削減効果>

事例1: 回転系の機械(ファン・モーター等)の適正周期

⇒ 経過年数ではなく、稼動時間に依存

事例2: バッテリーの寿命

⇒ 使用環境、周辺状況に大きく依存

要素 2 <価格コントロールによる削減効果>

事例1: 流通経路の吟味、大量発注によるコスト削減

事例2: 業者選択の吟味によるコスト削減

要素 3 <適正な管理を行うことによる削減効果>

事例: 空調密封循環水系配管管理

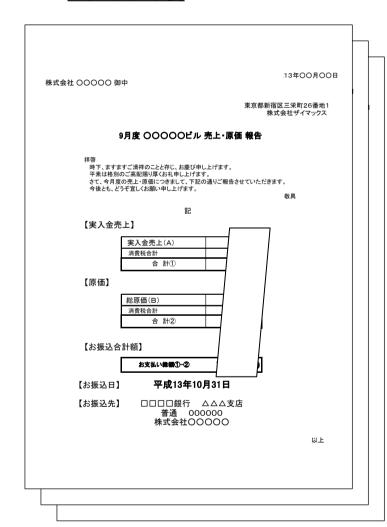
§ グランドパッキンの調整、

§ メカニカル・シールの使用。

§ 水質管理(水処理薬剤の利用等)と、防食皮膜を形成による腐食抑止。

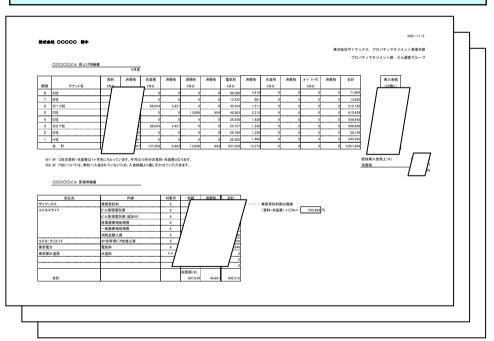
<結果> 配管寿命 約20年程度 ⇒ 30年程度へ

■アカウンティングカとレポーティングカ レポーティング例



[レポーティングについて]

- 適切かつ効果的なレポートが重要
 - •「計画/予算」(年間)
 - ・実績や現況の「報告」(月次、年次)
 - ・ 場合によっては、英語等でも
- 業務水準の維持・安定化・向上にも活用
 - ・PM、LM、CM等、幅広い領域をカバーするがゆえ、各領域での 業務水準を一定以上に保つことも肝要



■周辺業務遂行能力

『 投資家の動きに応じた業務例 』

